



2024年度 環境経営レポート

対象期間 2024年9月～2025年8月 <40期>
発行 2026年3月6日



sanwa
株式会社 三和興業



エコアクション21[®]
認証番号0009575

目 次

1.	組織の概要	p. 2
	1) 会社概要	
	2) 認証登録範囲	
	3) 対象組織図	
	4) 許認可	
	5) 処理工程図	
2.	環境経営方針	p. 7
3.	2024年度(令和6年度)及び中期環境経営目標、 当年度の目標対実績と判定、次年度の環境経営目標	p. 9
4.	当年度環境経営計画の取組結果とその評価 及び次年度の環境経営計画	p. 10
5.	その他 サステナビリティ	p. 13
6.	環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟等の有無	p. 13
7.	代表者による全体評価と見直し・指示	p. 14

1. 組織の概要

1) 会社概要

会社名	株式会社 三和興業
代表者	代表取締役社長 大山 哲寿
所在地	■本社 〒813-0044 福岡市東区千早2丁目2-43 TEL 092-671-1855 FAX 092-681-7004 URL www.sanwa-iec.co.jp MAIL info@sanwa-iec.co.jp ■篠栗SRC 〒811-2404 福岡県糟屋郡篠栗町大字内住4156-35 TEL 092-957-4900 FAX 092-948-2668 □飯塚SEC 〒820-0713 福岡県飯塚市内住流山3599-29 TEL 0948-72-3242 FAX 0948-72-3439 □古賀営業所 〒811-3115 福岡県古賀市久保588 TEL 092-942-7110 FAX 092-942-7420 ※篠栗SRC部門には飯塚SECと古賀営業所を含む
創業	1963年（昭和38年）4月
資本金	3,000万円
従業員数	103人（2025年 8月末）
売上高	4,540百万円（2024年8月決算）
事業年度	9月1日～翌年8月31日（今回の経営レポート対象期間：2024年9月～2025年8月）
延床面積	2,212㎡
環境管理責任者及び担当者	責任者 篠栗SRC副所長兼営業部部长 坂本 晃一 TEL 092-957-4900 担当者 本社環境土木部係長 釘島 太郎 TEL 092-671-1855
事業内容	・解体工事 ・産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物処分（中間、最終）
事業登録	建設業許可 福岡県知事許可（特-7）第59855号 建築工事業、解体工事業、とび・土工事業 古物商許可 福岡県公安委員会 第901151210071号（平成24年9月24日）

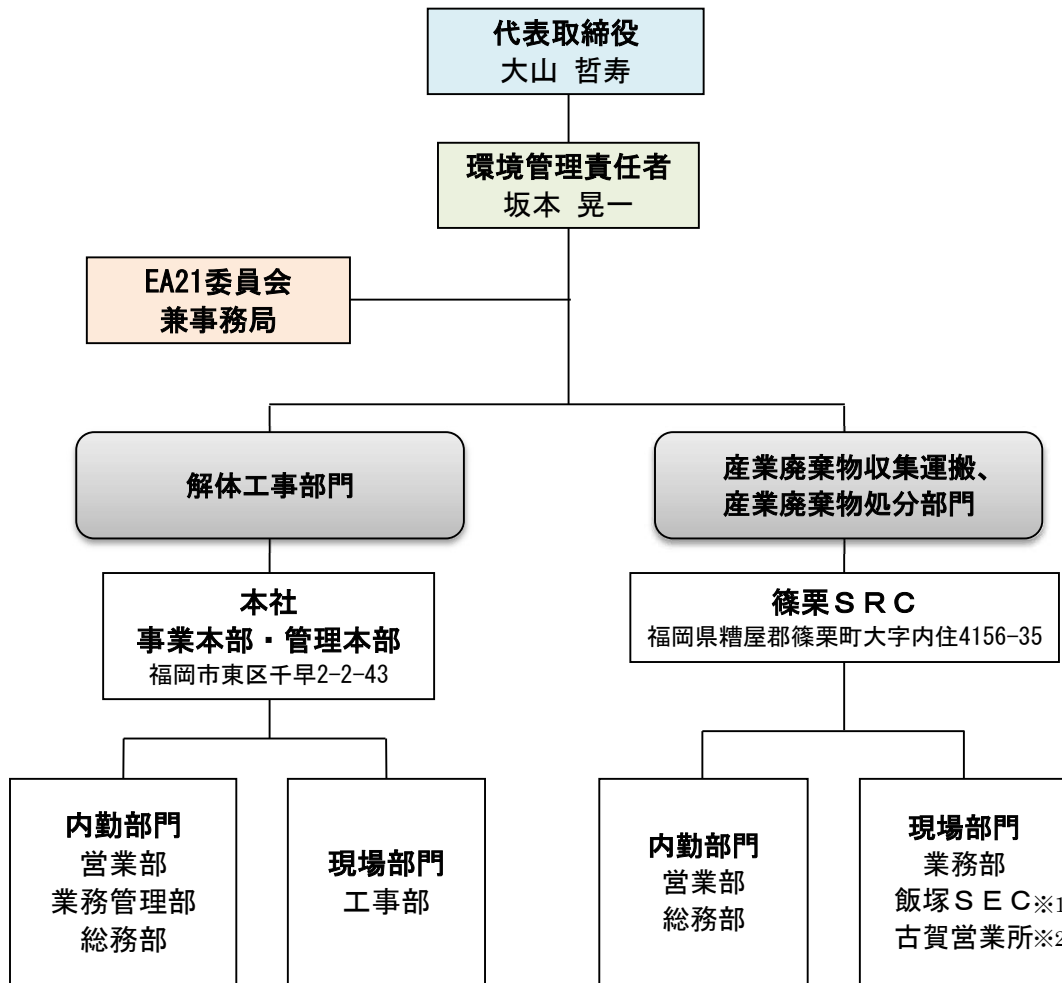
2) 認証登録範囲

対象事業所名	株式会社 三和興業
対象サイト	全組織・全活動
対象事業活動	・解体工事 ・産業廃棄物収集運搬、 産業廃棄物処分（中間、最終）



1. 組織の概要

3) 対象組織図



※1 福岡県飯塚市内住流山3599-29

※2 福岡県古賀市久保588

(役割分担表)

所 属 (役職)	役割・責任・権限・使命
代表者	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価・見直し
環境管理責任者	環境に関する事柄全体の把握／環境経営システムを構築・運用し、その状況を代表者に報告
エコアクション21 委員会	環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議し社内へ発表
	環境管理責任者を補佐して環境経営システムの維持・改善を行う
	文書及び記録類の作成・維持・管理
各部門	内部環境監査に係る業務
	電力・水・社用車等燃料消費量、一般及び産業廃棄物の廃棄量・リサイクル率の管理
	委員会からの連絡窓口 指摘・周知された事項について、各従業員へ周知

1. 組織の概要

4) 許認可

■産業廃棄物収集運搬業

県・政令市	優良認定	積替え保管	許可番号	許可年月日及び有効期限	許可品目															
					木くず	ガラスくず等	がれき類	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	汚泥	燃え殻	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ	鉱さい	ばいじん
福岡県	○	○	04010020039	2023年9月18日 2030年9月17日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
佐賀県	○	-	04103020039	2023年9月10日 2030年9月9日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大分県	○	-	04407020039	2021年4月28日 2028年4月27日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
長崎県	○	-	04200020039	2023年5月23日 2030年5月22日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
熊本県	○	-	04305020039	2021年7月22日 2028年7月21日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
宮崎県	○	-	04503020039	2024年3月5日 2031年3月4日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
鹿児島県	○	-	04603020039	2023年6月10日 2030年6月9日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
山口県	○	-	03500020039	2019年3月13日 2026年3月12日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
岡山県	-	-	03300020039	2025年10月31日 2030年8月31日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎石綿含有産業廃棄物を含む

■特別管理産業廃棄物収集運搬業

県・政令市	優良認定	積替え保管	許可番号	許可年月日及び有効期限	許可品目								
					廃油	廃酸	廃アルカリ	廃石綿等	鉱さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	
福岡県	○	-	04050020039	2021年4月26日 2028年4月25日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
佐賀県	○	-	04153020039	2021年4月14日 2028年4月13日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
熊本県	○	-	04355020039	2023年10月4日 2030年8月16日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
宮崎県	○	-	04553020039	2019年8月31日 2026年8月30日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大分県	○	-	04457020039	2025年3月9日 2032年3月8日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
長崎県	○	-	04250020039	2025年3月18日 2032年3月17日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
鹿児島県	○	-	04651020039	2025年3月27日 2032年3月26日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
岡山県	-	-	03350020039	2025年10月31日 2030年8月31日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

■積替え保管施設

保管場所所在地		福岡県飯塚市内住字用意ノ元2941番6									
保管場所面積		54平方メートル									
産廃の種類 (積替保管上限)	廃プラスチック等	ガラス等	紙屑	木屑	繊維屑	がれき	金属屑	汚泥	積上げることのできる高さ		
石綿含有廃棄物に限る	◎ (11.25m3)	◎ (11.25m3)	◎ (11.25m3)	◎ (11.25m3)	◎ (11.25m3)	◎ (11.25m3)			1.5m		
蛍光灯・廃HID・廃放電ランプに限る	◎ (8m3)	◎ (8m3)					◎ (8m3)		1m		
廃一次電池及び廃標準電池に限る							◎ (1m3)	◎ (1m3)			

■運搬車両一覧

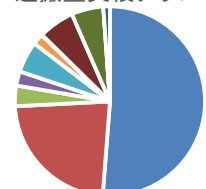
車両の名称	合計台数
バン	1
キャブオーバ	19
脱着装置付コンテナ専用車	20
ダンプ	24
ダンプセミトレーラ	1
トラクタ	2
セミトレーラ	2
【合計】	69

■年間運搬量実績

産業廃棄物種類	7スコン殻	ガラス屑等	金属屑	紙屑	木屑	石膏ボード	繊維屑	廃プラスチック類	混合廃棄物	水銀使用製品	石綿含有廃棄物	総合計
2024年度	47,543	21,301	3,235	2,291	4,901	1,724	63	5,679	5,046	4	1,028	92,815

単位：t

運搬量実績グラフ



1. 組織の概要

4) 許認可

■産業廃棄物処分業

県・政令市	優良認定	許可番号	許可年月日及び有効期限	許可品目										
				事業の区分	木くず	ガラス等	がれき類	プラスチック類	金属くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	水銀使用	
福岡県	○	04040020039	2023年9月18日	中間処理	破碎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					選別	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			圧縮梱包		/	/	/	○	/	○	/	/	/	
			2030年9月17日	最終処分(埋立)	/	○	○	○	○	/	/	○	/	

■産業廃棄物 種類別処理施設

産業廃棄物種類	処分方法	処理能力	施設名称・所在地
コンクリートがら	破碎	640 t / 日	(株)三和興業 篠栗SRC 福岡県糟屋郡篠栗町大字内住字尾花4156番29
アスファルト・コンクリートがら	破碎	640 t / 日	
その他がれき類・ガラス屑・コンクリート屑及び陶磁器屑	破碎 選別	640 t / 日 196 t / 日	
その他がれき類・ガラス屑	破碎	がれき140t/日 ガラス106t/日	
廃プラスチック類	破碎 選別 圧縮梱包	20.8 t / 日 196 t / 日 286 t / 日	(株)三和興業 篠栗SRC 福岡県糟屋郡篠栗町大字内住字尾花4156番6
金属くず	破碎 選別	24.2 t / 日 196 t / 日	
紙くず	破碎 選別 圧縮梱包	21.4 t / 日 196 t / 日 312 t / 日	
木くず	破碎	46 t / 日 52.3 t / 日	
繊維くず	破碎 選別 圧縮梱包	21.4 t / 日 196 t / 日 450 t / 日	(株)三和興業 飯塚SEC 福岡県飯塚市内住字用意ノ元2941番6
廃石膏ボード	選別	40 t / 日	
混合廃棄物 (安定型及び管理型品目含む)	選別	196 t / 日	(株)三和興業 篠栗SRC 福岡県糟屋郡篠栗町大字内住字尾花4156番6
石綿含有廃棄物 (がれき類・廃プラスチック類・ガラス陶磁器)	安定型埋立	埋立面積 19,583m ² 埋立容量 138,227m ³ 残容量 27,731m ³	(株)三和興業 飯塚SEC 福岡県飯塚市内住字流山3599番29外15番

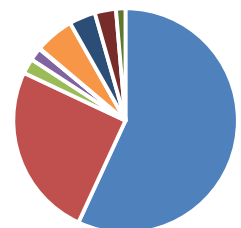
■年間中間処理・最終処分量実績

※木屑、廃プラ、紙屑、ガラス屑等、繊維屑の混合

単位：t

中間処理・最終処分量実績

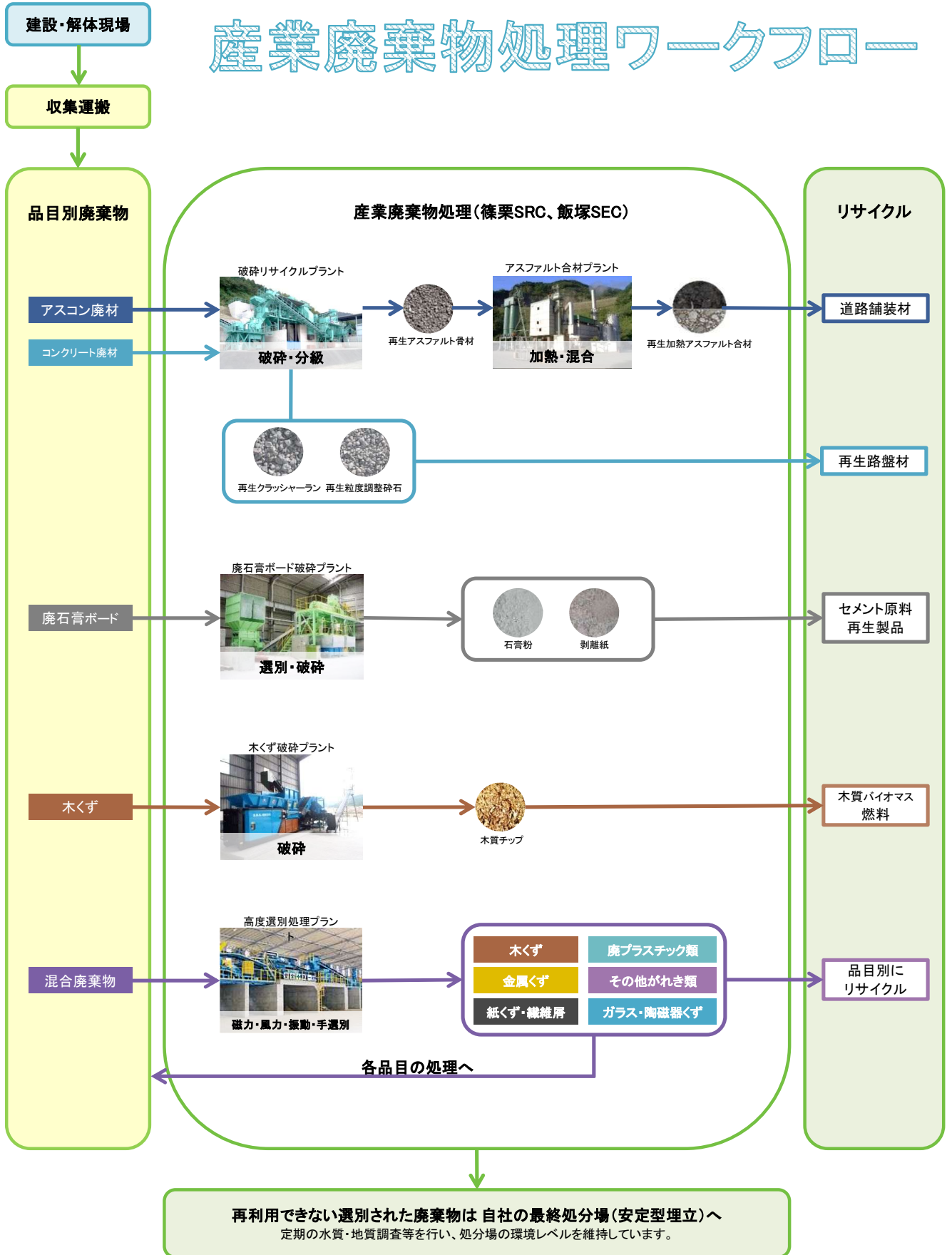
年度	産廃種別処理方法	アスコン	ガラス屑等	金属くず	紙屑	繊維屑	廃プラ	混合廃棄物※	木屑	石膏ボード	石綿含有廃棄物	総合計
2024年度	中間処理	80,613	35,519	3,109	2,637	106	7,968	5,394	4,335	1,936	/	141,617
	最終処分(安定型埋立)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	274	274



1. 組織の概要

5) 処理工程図

産業廃棄物処理ワークフロー



2. 環境経営方針

「持続可能な社会で人々を幸せに」

三和興業は、「環境保全」を経営における最重要課題と位置づけています。リサイクル事業の「3R」をベースにゼロエミッションを究極の目標として、再資源化の促進、CO2の排出抑制、さらに再生可能なクリーンエネルギー事業の推進を図ります。環境への取り組みを具体化し、以下の方針のもと活動を展開しています。



環境経営方針

基本理念

株式会社三和興業は、企業理念「持続可能な社会で人々を幸せに」に基づき、解体工事や産業廃棄物処理を通じて全社員で一致協力し、地球環境保全と経済成長が両立する持続可能な社会の実現を目標に環境経営の継続的改善を図りながら企業活動を進めます。この環境方針は、社員全員に周知するとともに、広く一般へ公開します。

行動指針

環境経営システムを構築、環境負荷の低減に向けて運用する為に下記の事項を重点的に取り組みます。

1. 産業廃棄物の分別を徹底し、資源としてリサイクルを推進します。
2. 機材の維持管理を徹底し、資機材の長寿命化に取り組みます。
3. 電力の使用削減に取り組みます。
4. 化石燃料の使用量削減に取り組みます。（エコドライブの推進、使用重機のハイブリッド・電気化の推進）
5. 事業活動に関する環境関連法規等を遵守します。
6. 協力業者にも本取り組みを理解して頂き、共に活動していただくよう推進していきます。
7. 現場や会社周辺の清掃を行い、周辺地域の美化と環境意識の向上に努めます。

制定日：2019年9月1日

株式会社 三和興業
代表取締役

大山 哲寿

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



三和興業は事業活動や社会貢献活動を通じ、SDGsの課題解決に向けて負の影響を最小化、正の影響を促進させて積極的に取り組みます。

私たちは解体・産業廃棄物処理のエキスパートとして、持続可能な開発に向けて大きく貢献できる事業であることを認識しています。解体工事で発生する廃棄物の再資源化による循環型社会への貢献はもちろん、事業活動による発生する二酸化炭素の削減（負の影響を最小化）や太陽光を中心としたクリーンエネルギー事業（正の影響を最大化）によって脱炭素社会に貢献します。さらに、環境面だけでなく、社会・経済と統合的に世界共通の課題解決に貢献できるように、ステークホルダーと関係性をさらに発展させ、私たち三和興業にできることを一つ一つ取り組んでいます。



3. 【2024年度(令和6年度)及び中期環境経営目標】、 【当年度の目標対実績と判定】、 【次年度の環境経営目標】

全社

■COP26における日本の温室効果ガス削減目標(注)を照準にして、長期環境経営目標を設定した。(注:2030年に、2013年比46%削減)

■【次年度の環境経営目標】は、中期環境経営目標と同様とする

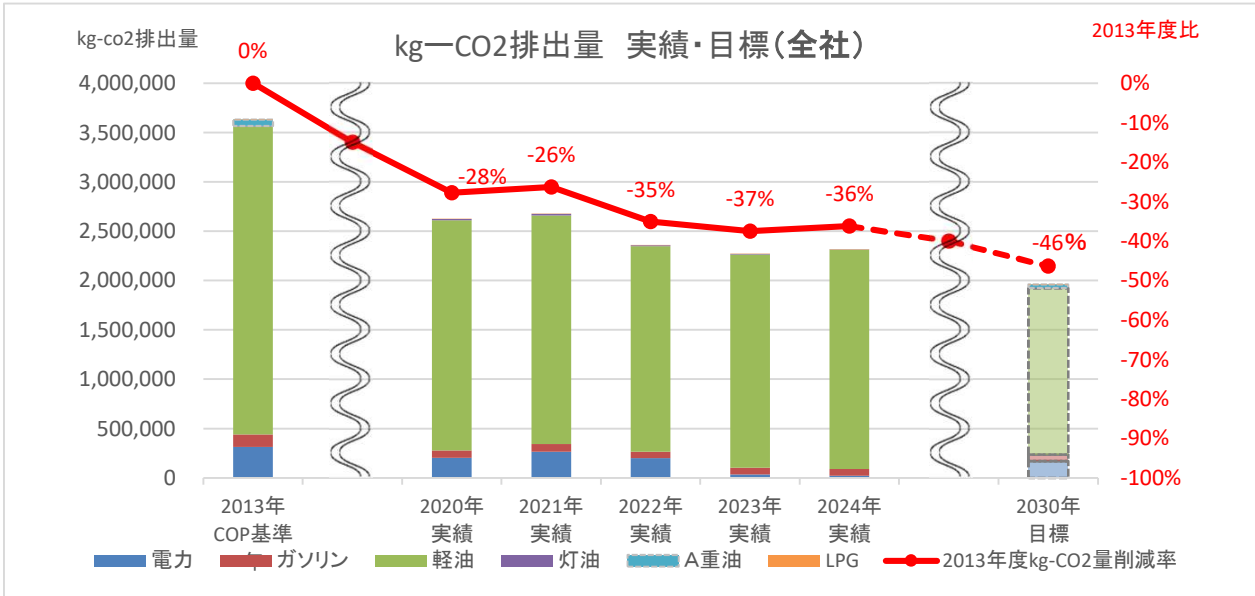
環境経営目標	対象部門	単位	長期基準年度	経営目標基準年度	2024(令和6)年度及び中期環境経営目標						長期環境経営目標	
			2013(H25)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度(中期の1年目)			2025(R7)年度	2026(R8)年度	2030(R12)年度		
			基準 [削減率]	基準 (削減率)	目標	実績			目標	目標	目標	
						値	対基準削減率	判定				
二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2 ※1	3,632,871	2,271,767 [-37%]	2,249,049 (-1.0%) [-38%]	2,318,039	(2.0%) [-36%]	×	2,226,332 (-2.0%) [-39%]	2,203,614 (-3.0%) [-39%]	1,961,750 [-46%]	
		kWh	676,581	891,528 [32%]	882,613 (-1.0%) [30%]	803,415	(-9.9%) [19%]	○	873,697 (-2.0%) [29%]	864,782 (-3.0%) [28%]	365,354 [-46%]	
		ℓ	54,139	29,624 [-45%]	29,328 (-1.0%) [-46%]	29,750	(0.4%) [-45%]	×	29,032 (-2.0%) [-46%]	28,735 (-3.0%) [-47%]	29,235 [-46%]	
		ℓ	1,191,039	824,421 [-31%]	816,177 (-1.0%) [-31%]	848,754	(3.0%) [-29%]	×	807,933 (-2.0%) [-32%]	799,688 (-3.0%) [-33%]	643,161 [-46%]	
自社発生廃棄物の削減	全社	枚	140,857	404,001	399,961 (-1.0%)	352,246	(-12.8%)	○	395,921 (-2.0%)	391,881 (-3.0%)	76,063	
	本社	%	23.0	34.0	34.3	35.0	(1.0%)	○	34.7	35.0	33.6	
		%	98.7	94.9	95.8	92.1	(-2.8%)	×	96.8	97.7	100%を目指す	
水使用量の削減	本社	m3	1,481	4,878	4,829	5,639	(15.6%)	×	4,780	4,732		
本来業務	SRC	%	98.1	92.8	93.7	93.3	(0.5%)	×	94.7	95.6	100%を目指す	
環境性能向上・サービス改善	全社	社会貢献活動			定期的な清掃	定期的な清掃	定期的な清掃		○	定期的な清掃	定期的な清掃	
		環境負荷低減の取組み			電動式大型BHテスト導入	有線式電動中型BH導入	有線式電動中型BH導入			節水に努める	節水に努める	

※1 購入電力の調整後二酸化炭素排出係数は 本社:0.449kg-CO2/kwh(2024/令和6年度)九州電力株式会社より、SRC:0.467kg-CO2/kwh(2023/令和5年度)株式会社新出光より

※2 篠栗SRCは雨水・湧水使用の為、不計測。 本社のうち、現場利用分については売上高に伴い変動する。

4. 当年度環境経営計画の取組結果とその評価 及び次年度の環境経営計画

CO2排出量の削減



取組計画

- ①電動油圧ショベルを導入し、篠栗SRCの中間処理施設における重機・車両・設備の効率的な運用に取組みます。
- ②老朽化した重機、運搬車両を随時更新し燃費向上に取組みます。

取組結果

- ①有線式電動油圧ショベル導入（14tクラス）
- ②運搬車両5台・油圧ショベル5台入れ替え

保有クリーンエネルギー機

- ・電気式油圧ショベル 3台
- ・ハイブリッド油圧ショベル 1台
- ・バッテリー駆動式ミニショベル 1台
- ・電気式破砕機 1機
- ・電気自動車 3台
- ・敷地内EV充電スタンド

今後も随時増台予定

評価

- 当年度は、電動油圧ショベルを篠栗SRCの破砕プラントに導入し、他の電動重機と連動した効率的な運用を強化しました。
- ただし、大型解体工事の受注が続き、解体工事の増加もあって、CO2排出量は当年度目標を3%上回りました。
- 電気使用量は前年を下回り、加えて、本社、篠栗SRCの各施設の電力は、引き続き再エネ指定化石証書購入によりCO2削減に取り組んでいます。
- なお、軽油使用量は、篠栗SRCでの電動重機導入による削減があったが、工事売上高が前年比17%増となり、工事現場の稼働増に伴い、目標を上回りました。



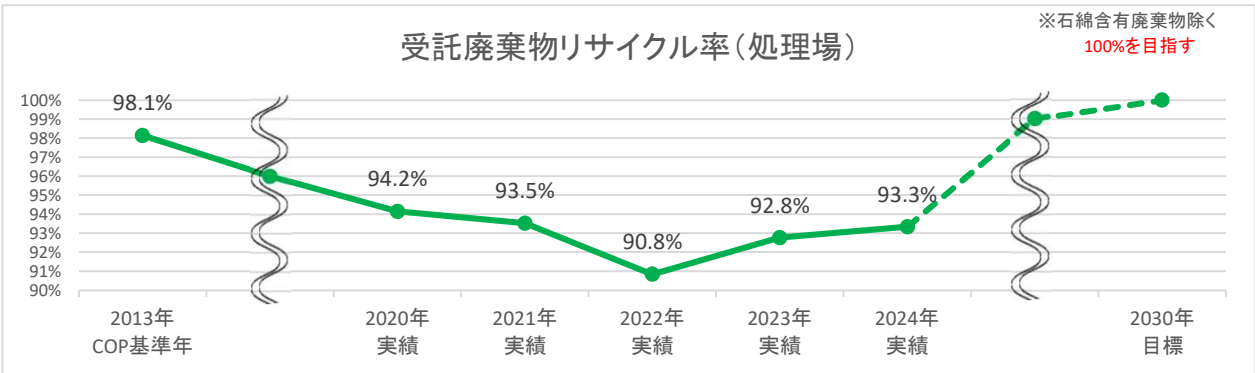
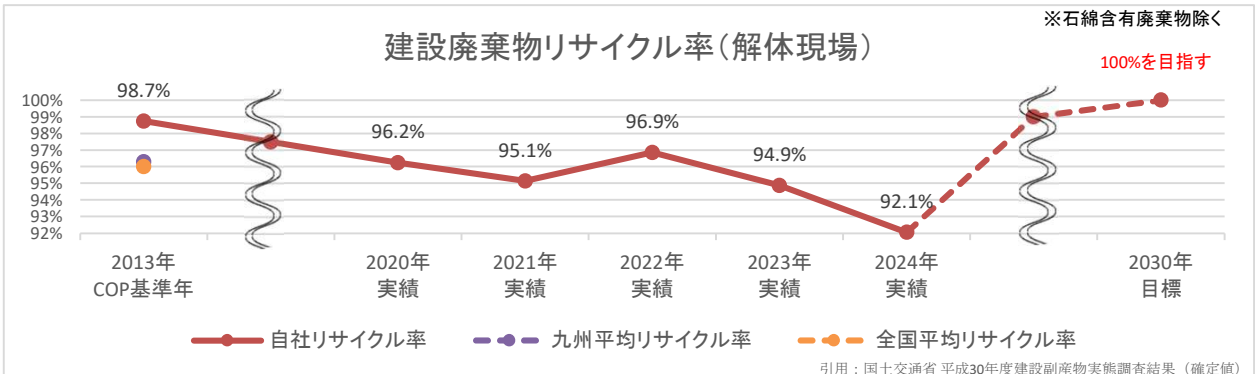
CO2フリー電気購入

次年度の環境経営計画

- ①老朽化した重機、運搬車両を随時更新し燃費向上に取組みます。
- ②新たに土壤汚染対策や太陽光パネルリサイクルについて研究し、事業において環境問題への対応を考慮した取組みを検討します。

4. 当年度環境経営計画の取組結果とその評価 及び次年度の環境経営計画

建設廃棄物及び受託廃棄物のリサイクル率向上



※解体現場・処理場の両りリサイクル率向上について、目標値は前項目「3. 環境経営目標」の通りとする

取組計画

- ① 篠栗SRCにおいて、ものづくり生産性向上事業を実施し、設備の効率的な運用とリサイクル率の向上を図ります。
- ② 解体工事現場において、産廃種別を明確にし分別を徹底します。

取組結果

- ① ものづくり生産性向上事業として新規導入の電動油圧ショベルを中心に運用体制を構築し、既存設備の能力を最大限生かす、破碎・選別の効率的運用を可能としました。
- ② 解体現場での産廃分別を徹底し、篠栗SRCでの効率的な選別を促進しました。

評価

- ものづくり生産性向上事業
電動油圧ショベル導入により、廃棄物の破碎機投入を効率化し、中間処理のボトルネックを解消して、効率的運用体制としました。また、施設内オール電化で、CO₂削減に取り組んでいます。
- 当年度のリサイクル率の状況
 - ・ 建設廃棄物・・・解体工事増により低下
 - ・ 受託廃棄物・・・リサイクル率100%のコンガラ等の割合が低下し、全体で目標下回る



電動油圧ショベル(14tクラス)

次年度の環境経営計画

- ① 篠栗SRC、飯塚SECにおける、各種の破碎、選別、梱包等のプラントについて、設備間の連携や効率的な運用体制を構築し、リサイクル化の精度向上を図ります。
- ② 解体工事現場において、引き続き産廃種別を明確にし分別を徹底します。

4. 当年度環境経営計画の取組結果とその評価 及び次年度の環境経営計画

水使用量削減・社会貢献活動・環境負荷低減の取組み



※実績・目標値は前項目「3. 環境経営目標」の通りとする

取組計画

- ① 解体現場における水の使用は、工事に伴う周辺への粉じん等の発生抑制を最優先にしながら、極力節水に取り組みます。
- ② 事業所周辺の定期的な清掃を実施します
 - ・本社周辺の早朝清掃
 - ・篠栗SRC周辺の県道清掃・樹木伐採
- ③ 篠栗SRCの地元住民への施設案内会や環境経営の取組みの説明会を実施します。
- ④ キッザニア福岡のオフィシャルアクセラレーターとして、同社が実施する地域の青少年を育成するプロジェクトに参加し、青少年の健全育成を支援します。

取組結果

- ① 水使用量は前年比15.6%増加。
- ② 今年度実施回数 本社：毎朝、篠栗SRC：清掃2回
- ③ 本年度、説明会は実施しなかったが、地域住民を訪問するなどの交流実施。
- ④ 25年8月 大阪・関西万博でのキッザニアジャパン主催の“こどもミライ祭り”にシルバーパートナー企業として協力。

評価

- 水使用量については、解体工事現場の状況により変動します。今年度も各現場の節水活動を積極的に実施しましたが、前年比増加しました。
- 社会貢献・環境負荷低減の取組みについては、当年度の計画に沿って実施し、成果をあげました。
- 事業所周辺の定期的な清掃活動は、本社、篠栗SRCとも定着しており、これを継続していきます。
- 「キッザニア福岡」のスポンサー（オフィシャルアクセラレーター）として、青少年育成活動を支援しています。



清掃活動



こどもミライ祭り

次年度の環境経営計画

- ① 解体現場における水の使用は、工事に伴う周辺への粉じん等の発生抑制を最優先にしながら、極力節水に取り組みます。
- ② 事業所周辺の定期的な清掃を実施します
 - ・本社周辺の早朝清掃
 - ・篠栗SRC周辺の県道清掃・樹木伐採
- ③ 篠栗SRCの地元住民への施設案内会や環境経営の取組みの説明会を実施します。
- ④ キッザニア福岡のオフィシャルアクセラレーターとして、同社が実施する地域の青少年を育成するプロジェクトに参加し、青少年の健全育成を支援します。

5. その他サステナビリティ



安全大会開催

無事故無災害の実現と安全意識向上のため、年1回来賓を招き安全大会を開催。安全を重視することが、企業経営と存続の基盤であり、責務であることを全社員、全協力会社の皆様が認識し、一層の安全活動の推進で災害ゼロから危険ゼロを目指していきます。



定期安全衛生協力会

協会社との共存共栄・相互繁栄と災害防止・安全衛生の推進を目的とし、協力会【栄和会】を発足。定期的な協議会や情報発信で和をもって安全衛生推進に取り組みます。



安全運転講習開催

交通安全意識向上を目的に、ダンプ運転手を対象とした講習会を外部講師を招いて開催しています。



6. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟等の有無

主な対象法令等一覧

法的及びその他の要求事項 (対象法令等)	遵守状況		法的及びその他の要求事項 (対象法令等)	遵守状況	
	本社	篠栗SRC		本社	篠栗SRC
建設リサイクル法	○		じん肺法		○
騒音・振動規制法	○		家電リサイクル法	○	
大気汚染防止法	○	○	消防法	○	○
石綿障害予防規則	○		フロン排出抑制法	○	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	○	浄化槽法		○
PCB廃棄物処理特別措置法	○		下水道法	○	
最終処分場の技術上の基準を定める省令		○	労働安全衛生法		○

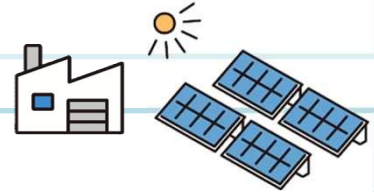
※篠栗SRC部門には飯塚SECと古賀営業所を含む

環境関連法規などの一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等もありません。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示

今年度の活動状況

中間処理施設における3期にわたる破碎機、選別機の投入に加え、新規導入した電動油圧ショベルによる選別ラインの運用見直しにより、産業廃棄物のリサイクル率向上とマンパワーに頼らない効率的な運用を実施する体制を構築し、今年度の環境経営活動においても、持続可能な社会の実現に向けた環境負荷の低減のための取組みを推進することができた。



活動結果における着眼点、課題

今年度の活動結果の内容について、以下の点に着目した。

- ①CO2排出量は、基準値に対し2%上回り、今年度目標を3%上回る結果となった。
これは、CO2排出量の90%を占める軽油の使用量が、目標比3%上回ったのが要因である。これに対し、設備、重機の電動化を進める中で、購入電力を証書購入による再エネ電力とすることで、CO2排出量削減を継続して実施した。
- ②大型解体工事の堅調な受注が前期から続き、工事売上高が前年比17%増となった。これはCO2排出量やリサイクル率に大きく影響しており、この対応を検討していく必要がある。
- ③リサイクル率向上に向けた設備投資計画のとおり、順次、設備導入を進めており、設備間の連携と効率的運用を図っているが、これをさらに高度化していくことが重要である。
- ④社会貢献の観点から、事業所周辺の清掃やキッズニア福岡への参画などの活動が社内に定着した。また、地元地域住民の事業への理解を深めていただく活動も重要である。

これらを踏まえ、今後の環境経営活動のあり方を検討していく必要がある。



今後の活動の方向性（上記の結果、評価を踏まえて）

- ①使用電力の実質的なCO2排出ゼロの継続
 - ・証書購入による実質的なCO2排出ゼロ化を継続していく。
 - ・軽油使用によるCO2排出量が多いことを踏まえ、「カーボンオフセット」の可能性を模索する。
- ②リサイクル率アップに向けた施策（選別、破碎能力の向上）
 - ・廃棄物の持込み・投入と各設備の稼働時間の効率的設定など作業ロスのない運用態勢の構築
 - ・新設備導入に伴い新たなリサイクル商品の可能性検討
- ③社会貢献活動、環境負荷低減の取組み
 - ・木くず破碎によるチップの供給などを通じ、地元の篠栗町におけるゼロカーボンシティ構想（バイオマス発電など）への貢献を展望していく。
 - ・篠栗SRCの地域住民や篠栗町との交流、施設案内会や環境経営への取組み説明などの活動を定期的実施し、積極的に推進していく。
 - ・キッズニア福岡のオフィシャルエクセラレーターとして、イベントに参加するなど青少年の健全育成を支援していく。



環境経営方針の推進



三和興業は、リサイクル事業の「3R」をベースにゼロエミッションを究極の目標としているが、それを推進するため、「SDGs」への参加も表明し、事業活動を展開していこうと考えている。

事業活動にあたって、CO2排出量の削減やリサイクル率向上に向けた諸施策に加え、「持続可能な社会」と「環境」に関連した、地域への貢献活動やSDGsの取組みも積極的に推進していきたい。